導入費の２／３を補助　ＩＴ導入支援事業

施工管理ソフト・除雪向けタコグラフ自動解析ソフト

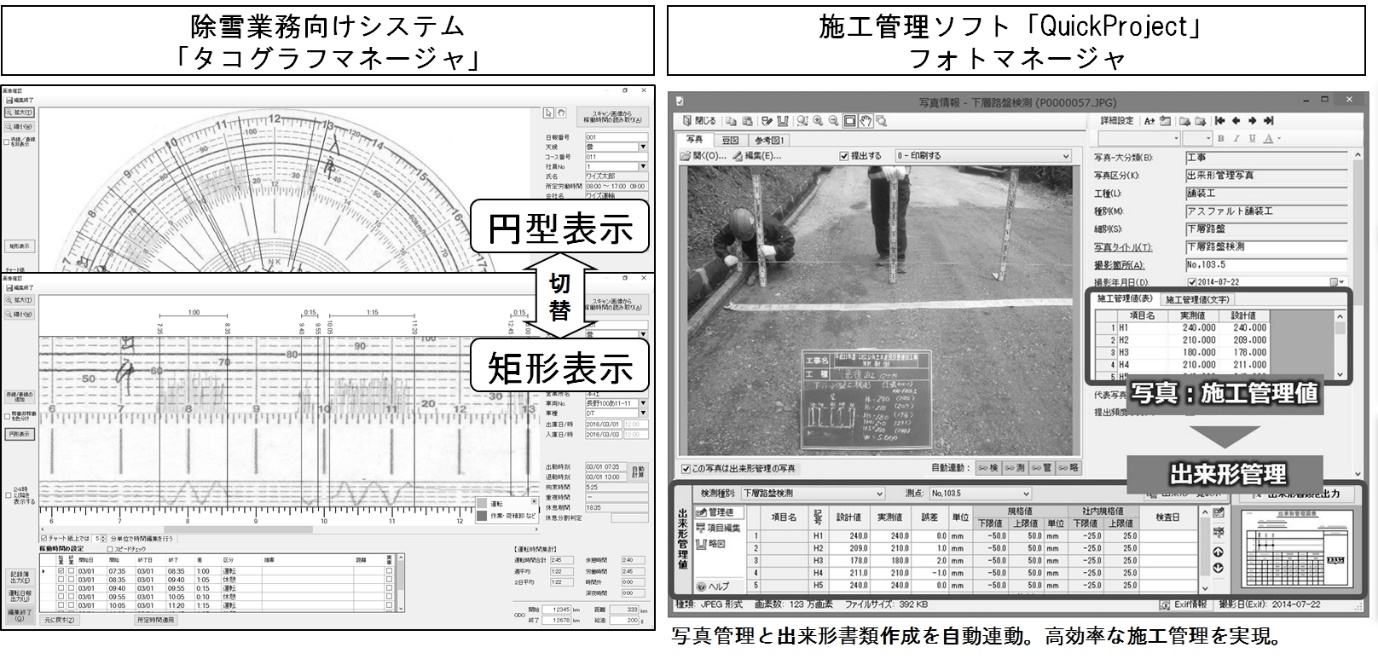
ソフトウェア開発の株式会社ワイズ（本社：長野市）は、同社が販売する施工管理ソフトおよび除雪機械タコグラフチャート紙自動解析ソフトの導入費３分の２が経産省から補助されることを発表した。

補助金は、平成２８年度第２次補正予算措置に伴う、中小企業・小規模事業者等を対象とした「サービス等生産性向上ＩＴ導入支援事業」の認定によるもの。経産省・中小企業庁より、ＩＴツール（ソフトウェア・サービス等）の導入経費３分の２以下にあたる２０万円以上１００万円以下の範囲で補助される。

申請期限は今月２８日まで。審査で交付が決定される事業者に対し、その後導入したＩＴツールが補助対象に。予算額は１００億円。

認定された施工管理ソフト「ＱｕｉｃｋＰｒｏｊｅｃｔシリーズ」は累計５１万ユーザーが利用する施工管理技術者向けソフト。工事写真管理『フォトマネージャ』をはじめ、電子納品、出来形書類作成、ＴＳ出来形管理等で構成される。

　除雪機械タコグラフチャート紙自動解析ソフト「タコグラフマネージャ」は、目視・手作業で行われていたアナログタコグラフチャート紙の解析作業を自動化。同社による実証実験では、チャート紙の解析から運転日報作成までの一連の作業時間を、従来比４分の１まで削減する。

同ソフトのトラック業者向けシステムも補助金対象。厚労省「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（改善基準告示）の適否判定機能を有する。

申請方法の詳細については同社（ＴＥＬ：０２６-２６６-０７１０） 西澤まで。